

# JACET Kansai Newsletter

No. 95 May 31, 2023

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 門田 修平 (関西学院大学) (Chapter President-elect: Shuhei KADOTA, Kwansei Gakuin University)

事務局: 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学法学部

石川圭一研究室内 JACET 関西事務局 齊藤倫子

(Chapter Office: Tomoko Saito, c/o Ishikawa Keiichi, School of Law and Politics, Kwansei Gakuin University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

## 巻頭言 : AI ツールと英語の学習・教育

門田 修平 (次期支部長)

今年 2023 年度より関西支部長就任予定の門田修平です。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年 11 月末に ChatGPT が登場し、その高度なチャット能力が多くの人を驚かせ、本格的な AI との共生時代の到来となりました。また、その後参入した (Microsoft) Bing は、現時点の最新の検索結果をもとに回答を提供してくれますし、最近では Bard も日本語に対応したサービスを開始するようになっていきます。さらに、それ以前からオンライン機械翻訳 (MT: machine translation) サービスとしてドイツの DeepL が 2017 年に公開した DeepL 翻訳も高い精度と専門性を誇っています。これらのサービスは、言語処理にきわめて長けており、英語を学習する際に利用できるツールとしても、大きな話題を集めています。

現時点で、学校教育から排除する方向にするのか、また取り込むとしてもどのような形で活用しようとするのか、大きな議論になっているかと思います。ただ、筆者としては、私たち英語教育に携わる者としては、これらの AI ツールにより、従来よりも英語学習・教育を個別最適化し、効率的に学ぶことができる方法を模索する必要があると考えるようになりました。

AI を活用して英語力、特に英語発信力を伸ばすには、まずは自分で、日本語ではなく、必ず英語の文を作ってみることが先決です。その上で、AI ソフトの機能を賢く使って添削してもらい、英文の読み上げ、自分の音声の発音チェックもしてもらおうと、まさに AI は学習者それぞれに合致した英語力強化コーチに変貌します。これは、小論 (2023 : 右段参照) で提案した英語ライティングからスピーキングにつながる英語発信力養成のための活用法です。

より具体的には、英語など外国語の学習・教育において、学習者の母語を一切使用しないで、外国語を身につけようとする方法は、「モノリンガル (monolingual) アプローチ」と呼ばれますが、これに対し、DeepL 翻訳 (MT: Machine Translation) から ChatGPT、Grammarly などの AI ツールを活用した英語・日本語の相互翻訳から、文法・発音チェックまで

を行ったライティング・スピーキングの発信型英語を学習する方法は、母語 (日本語) と関係づけながら行うので、「バイリンガル (bilingual) アプローチ」と呼ぶことができます。ここで、学習の最初のステップを、母語 (日本語) にするか、外国語 (英語) にするかは、学習成果に重大な影響をおよぼすとても大切な問題です。門田 (2023) の提案は、英語 (外国語) からスタートする学習法です。すなわち、

自力で英語作文



MT で日本語に翻訳



MT で英語に翻訳

という方法を採用することで、学習者自身の書いた英語が、AI ツールにより、いかに改善されるかが具体的に理解できるようになると考えます。そうすることで、自身の英語ライティング力から、ひいてはスピーキング力の育成につながる英語発信能力を高めることになるのです。具体的な手順は、「門田修平 (2023) AI を活用して英語ライティングをスピーキングにつなぐ『多聴多読マガジン』98 号 (2023 年 6 月号) pp.24-31. コスモピア」をご参照いただければありがたいです。

最後に、Bard に効果的な英語の学習法について聞いてみます (Q: Tell me about how to study English effectively.) と、Here are some tips. と述べ、次の諸点を挙げてきました。(1) Set realistic goals. (2) Don't try to learn too much too quickly. (3) Find a learning style that works for you. (4) Make learning fun. (5) Practice regularly. (6) Don't be afraid to make mistakes. (7) Find a language partner. (8) Use online resources. (9) Take classes. そして、最後に Learning English can be challenging, but it's also very rewarding. と結んでくれました。結構ポイントを押さえていると思いませんか

か？

## ■ 今年度のイベント・カレンダー ■

今年度に予定されている JACET 関西支部の活動です。是非ご予約ください。

日時 (Date)	行事・概要 (Event)
2023/6/17	第 1 回支部講演会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter 1st Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2023/9/30	『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』26 号投稿原稿締切 The deadline to submit a paper for <i>JACET Kansai Journal</i> No. 26
2023/10/21	第 2 回支部講演会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2023/11/18	支部総会@オンライン Chapter Annual Meeting, Online
2024/1/20	第 3 回支部講演会@オンライン Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting, Online
2024/3/9	支部大会・支部役員会@関西学院大学 Kansai Chapter Conference / Chapter Board Meeting, Kwansei Gakuin University
2024/3/31	『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』26 号刊行 Publication of <i>JACET Kansai Journal</i> No. 26

なお、上記イベントは諸事情により、日程・場所・内容等に変更が生じる場合がございます。最新情報は支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にて随時更新しておりますので、ご確認ください。

Please check the Kansai Chapter website for specific details: <http://www.jacet-kansai.org/>.

## ■ 2023 年度 JACET 関西支部大会 ■

2023 年度の支部大会は、以下の要領で開催されます。発表の詳細は後日公開致します。ふるってご応募ください。

日時：2024 年 3 月 9 日（土）

場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

大会テーマ：デジタル時代の英語教員の役割とアイデ

ンティティ：技術革新に適応した英語教育とその役割の再考

基調講演には関西大学外国語学部の水本篤先生をお招きし、皆さんで新しい時代の英語教育をご一緒に考える機会にしたいと思います。

## Kansai Chapter 2023 Conference

We are pleased to announce that the Kansai Chapter 2023 Conference will be held on March 9, 2024, at Kwansei Gakuin University, Nishinomiya-Uegahara Campus. The conference theme is "The Role and Identity of English Educators in the Digital Age - Rethinking English Education and Its Significance in Adapting to Technological Innovation". Details of the announcement will be publicized in due course. We cordially invite submissions from interested participants and look forward to your active participation.

We are honored to announce that the keynote speaker for the conference will be Professor Atsushi Mizumoto from Kansai University's Faculty of Foreign Studies. We believe that his insights on English education in the new era will provide valuable perspectives and stimulate lively discussions. We warmly welcome everyone to join us in this exciting event.

## ■ 2023 年度第 1 回支部講演会のお知らせ ■

2023 年度第 1 回支部講演会は、下記の通り廣森友人先生による招待講演を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>) をご覧ください。

1. 日時：2023 年 6 月 17 日（土）15:30～17:00
2. 会場：オンライン（ZOOM）（アクセス情報は後日お知らせします）
3. 演題：英語教育論文執筆ガイド：論文投稿・掲載のコツとヒント
4. 講師：廣森 友人 先生（明治大学）
5. 概要：本発表では、発表者がこれまでに経験してきた論文の執筆・投稿・査読・編集・指導に基づき、論文採択に向けた留意点やアドバイスについて、具体例を挙げながらお話したいと思います。論文を執筆・投稿するというのは、陸上の競技会や音楽のコンクールに参加することに似ています。まずは地区大会（論文で言えば、地区学会誌）で結果を残し、全国大会（全国誌）

に出場し、いつかはアジア大会、あるいは世界大会（国際誌）を目指す場合もあるでしょう。後者ほどレベルが高くなるのは言うまでもありませんが、いずれの大会においても、結果を残すにはまずもって、その分野の「型」や「作法」を身につける必要があります（型を身につけてこそ、「型破り」なパフォーマンスができるのであって、型がなければ、単なる「形無し」です）。本発表では、論文執筆に係る「型」や「作法」を紹介することを通じて、参加者の皆さんが実際に論文を執筆してみたいと思うような機会になることを目指したいと思います。

6. 参加費：：JACET 会員・非会員共に参加費無料  
※ホームページ上で事前申し込みが必要
7. 使用言語：発表は日本語、質疑は日本語・英語

### Kansai Chapter First Lecture Meeting of AY 2023

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2023 academic year will be held as follows:

1. Date: Saturday, June 17, 2023, 15:30-17:00
2. Venue: Online (TBA)
3. Title: Writing a Research Paper in English Education: A Step-by-Step Guide
4. Speaker: Prof. HIROMORI, Tomohito (Meiji University)
5. Abstract: In this presentation, I will provide tips and advice on how to get your paper accepted, drawing on my extensive experience in writing, submitting, reviewing, editing, and teaching papers in English education. Writing a paper is similar to competing in a track and field or music competition. You start at the regional level, which in the case of a paper, means submitting it to a regional journal. As you progress, you move on to the national level (submitting it to a national journal) and then to global levels (submitting it to an international journal). To succeed in this process, it is crucial to master the “pattern” and “manner” of the field. During this presentation, you will learn a variety of tips that will help you write your paper and increase your chances of getting it accepted.
6. Fee: JACET members and nonmembers, free. Pre-registration is required.
7. Main language: Japanese for presentation. English & Japanese in the Q&A session.

Details are available on the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>)

### ■ JACET 第 62 回国際大会のお知らせ ■

2023 年 8 月 29 日（火）から 31 日（木）まで明治大学にて JACET 第 62 回国際大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：言語教育における連携の再構築と発展

日程：8 月 29 日（火）～ 8 月 31 日（木）

場所：明治大学（駿河台キャンパス アカデミーコモン）

要旨：JACET では、2013 年に京都大学で開催された第 52 回国際大会において「英語教育の連携と相対化」というテーマのもとで、教育工学や他言語の教育といった隣接分野、関連分野、ならびに国内の英語教育他学会との緊密な連携関係について議論を行った。それから 10 年が経過したが、その間に英語教育の研究や実践を取り巻く情勢には私たちの想像を遥かに超える変化が起こっている。今後も激変する状況乗り越えるために、広く言語教育の原点に立ち返りつつ、今後の言語教育の方向性を考える必要が生じている。さらに、次の時代に繋げていくため、言語教育分野に留まらず、教育に関わる関連分野との連携も再確認することが求められている。そこで、本大会では「言語教育における連携の再構築と発展」というテーマのもとに、言語教育の未来に向けた新たな可能性について議論を行いたい。

(<https://www.jacet.org/convention/2023-2/>)

### The JACET 62nd International Convention

Theme: Reframing Collaboration in Language Education and Beyond

Date: Tuesday, August 29—Thursday, August 31, 2023

Venue: Meiji University (Academy Commons, Surugadai)

Abstract: At the 52nd International JACET Convention held at Kyoto University in 2013, based on the theme of “Collaboration and Relativization in English Language Education,” participants discussed not only how to create collaborative relationships with colleagues in related fields such as educational technology and the teaching of foreign languages other than English, but also how to work together with colleagues in other English language education societies in Japan. Ten years have passed since then and the circumstances surrounding research and practice in English education have changed much more than we could have imagined. We believe that to ensure we can surmount sudden changes in the field of English language education in the

future, we must revisit the fundamentals of language education and consider anew the direction we think language education should take. In addition, to connect with future generations, we believe we must not only reaffirm our cooperation with those in the field of language education proper, but also with those in fields of study related to education. At this year's conference we wish to discuss new possibilities for the future of language education under the theme, "Reconstruction and Development of Collaboration in Language Education."

(<https://www.jacet.org/convention/2023-2/>)

## ■ 紀要編集委員会より ■

『JACET 関西紀要』第 25 号 (JACET 関西 50 周年記念号) を 2023 年 3 月末に会員の皆様にお届け致しました。招待論文 3 本、研究論文 2 本、実践研究論文 1 本、実践ノート 1 本、さらに、これまで支部長をお務めになられた先生方の寄稿文 3 本と各 SIG からの研究会活動報告を掲載しております。ご協力いただきました査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同改めまして心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

2023 年 7 月 1 日より、第 26 号の投稿受付を開始いたします (投稿締切: 9 月 30 日)。前号 (第 25 号) から「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」(以上査読有)「SIG 報告」(査読無)の 5 つの種別への投稿が募集されています。「研究論文」「実践研究論文」は 20 ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は 15 ページ以内、「SIG 報告」は 6 ページ以内となっています。詳細は JACET 関西ウェブサイトをご覧ください。

支部ホームページ (<http://www.jacetkansai.org/>) の投稿用テンプレート (WORD) をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限: 2023 年 9 月 30 日 (金) 午後 11 時 59 分

論文送付先: 紀要編集委員会 事務局長

西村浩子 (周南公立大学)

[jacetkj \[AT\] gmail.com](mailto:jacetkj[at]gmail.com)

提出方法: ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル (WORD と PDF)。

(原稿郵送は受け付けません。)

※ 受領後 3 日以内に事務局より確認の返信が届きます。万一、3 日経っても返信が届かない場合は、西村浩子まで再度ご連絡ください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ

<http://www.jacet-kansai.org/submission.html>

をご覧ください。

重要な日程:

2023 年 9 月 30 日 (必着) 投稿原稿締切

11 月 30 日 審査結果通知

2024 年 1 月 6 日 (必着) 最終修正原稿締切

3 月 31 日 刊行

The JACET Kansai Journal (JKJ) Editorial Committee announced the publication of JKJ No.25 (50th-anniversary issue of JACET Kansai), which was sent to members at the end of March, 2023. The journal contains three invited articles, two research papers, one practitioner research paper, and one practitioner note, as well as three contributed papers by the previous Chapter Presidents and SIG reports. The Editorial Committee would like to express its sincere gratitude to the reviewers who devoted much time and effort to the editorial process.

We welcome your submissions for the next issue, JKJ No. 26, which requires online registrations starting on July 1st.

Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Journal website, and submit your application.
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:  
Hiroko Nishimura (Shunan University)  
JACET Kansai Journal Secretariat  
[jacetkj \[AT\] gmail.com](mailto:jacetkj[at]gmail.com)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Hiroko Nishimura, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:

September 30, 2023 (via email as an attached file)

- Announcement of editorial decision:

November 30, 2023

- Deadline for receipt of revised final manuscripts:

January 6, 2024 (via email as an attached file)

- Publication: March 31, 2024

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

## ■ 事務局より ■

### Messages from Kansai Chapter

4月1日より、支部事務局を担当します総務幹事の斉藤倫子です。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度の関西支部の連絡先は本ニューズレターの冒頭をご覧ください。

本年度の体制は、門田支部長、石川副支部長、中西副支部長を中心として、総務幹事を斉藤・三木浩平先生、財務幹事をハーバート久代先生・田中美津子先生、紀要幹事を西村浩子先生・大槻きょう子先生、広報幹事を吉田論史先生・山下美朋先生が務めます。この新体制で協力し合いながら、支部の活動を会員の皆様にとって有意義で、魅力的なものにしていきたいと考えております。

また、本年度の研究企画委員会の体制として、委員長を山中司先生、副委員長を葛田和美先生、近藤雪絵先生がご担当されることになりました。また新たに8名の先生方が研究企画委員としてご就任されました。心強い布陣で支部大会を盛り上げてまいります。皆様のあたたかいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2022年度でご退任なさった先生方から、以下のメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。これまで支部のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

## ■ 退任のご挨拶 ■

### Messages from Kansai Chapter Officers Completing Their Term of Office

◎ 旧支部長 植松 茂男 先生（大手前大学）

この6月の理事会をもちまして、4年間の支部長職を任期満了で退任させていただきます。コロナ禍という難題に直面し、講義・会議は対面との前提が大きく崩れましたが、とりわけ1年半にわたって準備した第59回JACET国際大会（2020年9月、於同志社大学）の中止が残念でございました。しかしながら2020年後期から、遠隔により支部講演会・大会がすべて復活するとともに、関西支部では3つの大きな前進がございました。（1）支部紀要の充実（投稿区分の見直し・拡大、支部50周年記念号発刊）、（2）支部HPの充実（HP更新、現在支部紀要は2007年以降、News Letterは2010年以降のものすべてが掲載され、内容の閲覧が可能で）、（3）支部会員のための情報提供（支部HP上で教員公募、支部MLの活用）。非力な私がこれらの大きな仕事に着手することができたのは、ひとえに支部運営を支えてくださった役員（副支部長・幹事・研究企画委員・社員）の先生方の献身的なご尽力によるものと感謝しております。この場をお借りし

て心からお礼を申し上げます。

◎ 旧副支部長 照井 雅子 先生（近畿大学）

副支部長として4年間大変お世話になりました。2020年度に関西支部担当のJACET第59回国際大会が中止となり、それ以降の行事もオンライン開催という新しい試みが必要となりましたが、支部長の植松茂男先生、副支部長の高橋幸先生、里井久輝先生、中田賀之先生はじめ、関西支部幹事・役員の先生方のお力で乗り越え、大きな成果を上げ続けています。多くの素晴らしい先生方のおかげで任期を終えることができました。心より感謝申し上げます。

◎ 旧副支部長 中田 賀之 先生（同志社大学）

紀要編集委員として3年、紀要編集委員長（副支部長）として1年、お世話になりました。この期間、紀要の編集作業において様々な先生にご尽力いただき、一体となって皆様とお仕事をさせていただいたこと、とても充実した貴重な経験でございました。心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

◎ 旧総務幹事 今野 勝幸 先生（龍谷大学）

総務幹事を4年間担当し、事務局を2度務めさせていただきました。幹事、そして会員の先生方にはご迷惑をおかけしてばかりでしたが、暖かく見守ってくださったおかげで、無事に乗り切ることができました。本当にありがとうございました。JACET関西支部は、幹事の先生方が自律的に自分の仕事を全うしつつ、常に協力し合っている素晴らしい組織だと強く感じました。今後とも、JACET関西支部のますますの発展を心よりお祈りしております。

◎ 旧広報幹事 藤村 敬次 先生（愛知工業大学）

広報幹事として2年間お世話になりました。コロナ禍でメールを通じた依頼ばかりでしたが、幹事・役員の皆様にはいつも快くお引き受けいただき、なんとか業務をこなすことができました。特に以前からの懸案であった支部ホームページの刷新に際しては、多大なるご理解・ご支援をいただけたこと、改めて感謝申し上げます。2023年度より中部支部へと移籍になりましたが、全国大会等で皆様にお目にかかれまことを楽しみにいたしております。

◎ 旧紀要幹事 竹田 里香 先生（立命館大学）

2年間紀要幹事としてお世話になりました。紀要編集委員長、編集委員の先生方、一緒に幹事を担当してくださった先生方、支部の幹事の先生方に温かくサポートを頂き、無事2023年3月に記念号を発刊できたこと、こころより感謝申し上げます。学会運営の一端に携わることができ、多くの事を学ばせていただきました。

た。この貴重な経験を活かしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。JACET 関西支部の益々のご発展をお祈りしています。

◎ 旧研究企画委員 石野 未架 先生（同志社大学）  
任期中、新型コロナウイルス感染症の影響で支部大会はオンライン形式でした。なかなか顔をあわせて打ち合わせをする機会がないなか、研究企画委員長の吉田先生（2021 年度）や山下先生（2022 年度）が段取りよく会議などすすめて下さったおかげで、どちらの年度も素晴らしい支部大会になりました。私は皆様にご迷惑をおかけしてばかりでしたが、委員長の先生方をはじめ多くの先生方の暖かいご指導のおかげで運営に携わることができました。この場をお借りして、先生方に心より御礼申し上げます。

◎ 旧研究企画委員 矢野 浩二郎 先生（大阪工業大学）  
主に ICT 関係でお手伝いさせて頂きました。今までこの種の学会や委員会の活動をした経験が無かったため、色々と手間取ることも多かったですが、多くの先生方のご教授とご助力によって大過なく任期を終える事ができました。研究企画委員長をはじめ、皆様のお心遣いに感謝しております。これからは大会も対面が中心になると思いますが、コロナ禍の間に培ったノウハウを、少しでも今後もお役に立ていただければ幸いです。

◎ 旧研究企画委員 白井 由美子 先生（神戸女学院大学）  
研究企画委員として 2 期お世話になりました。お声がけ頂きました時には、私で務まるのかしらと不安でございましたが、その都度先生方のご親切なお心と的確なお導きのおかげ様で、多くのことを学ばせて頂く豊かな 4 年間となりました。画面越しでの会議が主となりましたが、その分強い繋がりもあったと思っています。お世話になりました先生方皆様に心より御礼申し上げます。JACET 関西支部のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

◎ 旧研究企画委員 浅野 元子 先生（大阪医科薬科大学）  
2021 年度から研究企画委員に加えていただき、大変お世話になりました。コロナ禍での支部大会の準備・開催となりましたが、先生方の臨機応変で献身的な活動と行き届いた心配りに触れ、貴重な学びと経験を積むことができました。ご指導とお力添えをいただいた先生方に心より感謝申し上げます。JACET 関西支部のますますの発展をお祈り申し上げます。

◎ 旧研究企画委員 山本 享史 先生（天理大学）  
研究企画委員として 2021 年度より 2 年間お世話になりました。在任期間中、会議や行事の準備等の活動を通じて多くの先生方にご指導、ご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。今まで当たり前のように参加してきた会活動や行事がさまざまな側面で役員の先生方の献身的なご努力により成り立ってきていたのだということを改めて感じさせていただく貴重な機会となりました。JACET 関西支部の今後のさらなる発展とお祈りいたします。

◎ 旧研究企画委員 神野 雅代 先生（四天王寺大学）  
2020 年度から 2022 年度までの 3 年間、研究企画委員を担当させていただきました。コロナによる影響でオンライン形式で開催されました支部大会の準備などさまざまな活動に参加させていただき、多々ご迷惑をおかけすることもございましたが、大変勉強になりました。大変お世話になりましたことにあらためまして心よりお礼申し上げます。JACET 関西支部の益々のご発展をお祈りいたしております。

## ■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配送やメール・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号等）が変わられた方は、**必ず**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。**会員情報の変更のご連絡は、本部事務局（[jacet@zb3.so-net.ne.jp](mailto:jacet@zb3.so-net.ne.jp)）までお願いいたします。**

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone number, and other information to the **JACET Main Office** ([jacet@zb3.so-net.ne.jp](mailto:jacet@zb3.so-net.ne.jp)).